

第17回吹田市総合計画策定委員会議事概要

- 1 日 時 平成25年1月23日(水) 午後1時から2時25分まで
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席者 別紙(出欠一覧)参照
- 4 配付資料 (1) 資料-1 基本計画に掲載する(検討中)指標・目標値一覧
(2) 資料-2 指標・目標値等の他市事例一覧(基本計画の議決義務のある市)
(3) 資料-3 総合計画審議会意見等による基本構想(素案)の修正案
(4) 参考資料 各市の基本計画における各主体の取り組みや役割に関する表記事例
(5) 参考資料-2 基本計画 施策 構成イメージ(案)

5 議事内容

(1) 総合基本計画の構成について

資料-1、資料-2を用いて説明を行った。

【質疑応答事項】概要

質問1: 資料-2を見ると、基本計画に目標を掲載している2つの自治体は計画期間が短く、掲載していない2つの自治体は計画期間を長くしているように思える。期間が長過ぎると目標の設定は難しいということではないのか。

回答1: 期間が長い場合は、計画期間全体を前期と後期に分けていることが多い。

質問2: 5年くらいの計画期間であれば分野別計画の目標値との関連付けも可能だとは思いますが、今回は平成32年度までの7年間の計画なのだから、分野別計画の目標値を使うことができるのか。

回答2: 分野別計画に掲載されている目標値を活用するのは難しいケースが多いと考え、市民意識調査結果などを使えばどうかと考えている。ただ、分野別計画と同じ目標値ではいけないということではなく、目標年次が変わってくることを前提に整合性を図ればよいと考える。

質問3: 分野別計画で目標設定されている場合が多いが、期間がバラバラでも、それを利用すると設定しやすいし、説明もしやすい。平成32年度を見据えて目標値をつけるとなると、説明根拠が薄くなるのではないのか。

回答3: 総合計画の指標では、行政だけが活動すれば数値が上がるような活動指標的な目標はできるだけ避けるという考え方を作業部会で議論している。他市の事例を参考にしながら、指標の内容を精査しながら設定していけば良いのではと考えている。

質問4: 資料-2の26ページ「【7】高齢者の安心」の箇所で、細かい数値が並ぶ中で、目標値が「増加」となっているものがある。数字にしても、「増加」にしても何を根拠に出しているのか。

回答5: 指標に関して聞き取りはしたが、そこまで深い議論はしていないという答えだった。「増加」などは、「高齢化しているが、そこは現状維持に努める」というような考え方を示しているものと推測している。数字の根拠が出しにくいものは、「増加」や矢印での記載になっている。他市の例では、矢印だけの所もあり、それを

もとに指標設定されている。

意見 6 : 分野別計画をもとに総合計画の目標値を設定するのは良いが、1つの計画の中で「増加」とだけ書いてある指標と、数値をきっちり出している指標があるような状況は適切ではないと考える。

意見 7 : 今ある分野別計画にある目標値をそのまま載せるのでは、総合計画を作る意味が薄いように思う。指標を検討するに当たって、分野別計画を縛らないということであったが、総合計画においては分野別計画にはない目標値を挙げ、それらを具体化していく中で細かい数値が挙がってくる方が良いのではないか。

回答 7 : 今回の総合計画では、詳しい内容はできるだけ分野別計画を案内する形にし、施策の関連するところで分野別計画の名称を載せることを考えている。

意見 8 : 今素案として示している基本計画の目標値は、分野別計画の目標値と重複しているのか。重複しているのであれば意味が薄いように思う。

回答 8 : すべてが同じものかという照合はできていない。出来るだけ重複しないで設定するように、ヒアリングの中で話している。

意見 9 : 環境基本計画の中で、平成 32 年度の目標値がすでに決定しており、環境審議会にも通している。それ以外の数字は設定できないので、環境についてはこれでいくという議論をしている。分野別計画の指標と同じものは使わないという議論をされたら、毎年追跡調査をして達成率を出して、環境審議会に報告しているのと整合が取れない。

回答 9 : 指標自体が同じでも、目標値の整合を図るのであれば、矢印にして整合性を図る方法もあると、作業部会で話している。

意見 10 : 数値ありきで検討してきている。

回答 10 : すべて数値でなくてもいいということである。矢印を示すだけでも、意味があるのではないかということである。考え方を示すのが指標の役割だと考えている。

意見 11 : 平成 32 年度の計画があって、環境審議会で承認を得ているものをなぜ出してはいけないのかという意見も出てくる。

回答 11 - 1 : 総合計画の指標が、目標年次の近い分野別計画の指標をなぞり、外れているものは矢印を示しているだけのものになっては良くないということである。一番良いのは、具体的な目標を達成する1つ上の方針として共有できたらいい。すべてがこれで出来るとは限らないが、全体が分野別計画の集大成では良くないように思う。

回答 11 - 2 : 他市へのヒアリングにおいて、各分野の審議会を通して目標値との整合性に関して、各分野の審議会があるごとに目標値が変わっていくようであれば、長期計画が成り立たなくなるという話があった。仮に目標値が変わったとしても、総合計画ではそのままにしておくのも1つと考える。

意見 12 : 総合計画全体で統一した形を取るということであれば、総合計画では、数値目標は分野別計画に委ねて今後の方向性を矢印で示しておけば今のような議論にはならない。ただ、それが目標値を定めたといえるかは別である。

回答 12 : 方向性だけとってすべてを矢印にする、又は、平成 32 年度までの計画が立って

いて、数値を挙げられるところは挙げるなど、臨機応変に変える、又は、計画には記載しないで別の部分で管理する。選択肢としてはその3つくらいが想定される。方針が決定すれば、それに基づいて進めていきたい。

意見 13：矢印はすべての項目にあって、そこに数字を併記するものとししないものということではどうか。

意見 14：市民満足度というものは、ものすごく抽象的で設定しやすく、また財源の裏付けがなくても設定できる。他市では、市民満足度を活用しているのもあるが、指標として効果はあるのか。

回答 14：現行の総合計画では、目標値を示していたが、今回は出来るだけ矢印に変えるという話をしている。

質問 15：13 ページの目標値で、パーセントと点があるのはなぜか。

回答 15：パーセントは調査結果をそのまま掲載しており、点の方は調査結果の加重平均をとって点数化している。前回の資料-2の一覧表にも示しているが、それぞれの施策の満足度と重要度の点数を出している。

意見 16：例えば、13 ページの「年間火災件数」などの目標値は挙げられるようなものではない。矢印で方向性を示すしかないのではないか。

意見 17：必ずしも統一は出来ないが、なぜそう決めたのか説明をできるようにし、どうしても数値を入れないといけないものは入れるということで、次回示すということではどうか。

意見 18：指標は別で管理した方が良いのではないか。

意見 19：分野別計画でも最近では目標値を入れている。方向性としては入れた方が良い。

意見 20：部長マニフェストとの関連もあるので、指標は入れた方が良いと考える。

質問 21：事務局として指標の考え方は所管に示していると思うが、実際のこのバラツキを説明するのは難しいのではないか。統制は取れていると考えるのか。

回答 21：事務局は指標の考え方を示し、各所管が考えている。その結果として、まだ完成ではないが、ほぼ8割は固まりつつあり、統制は取れていると考えている。

意見 22：作業部会に入っている立場からいうと、今の考え方だけでは、所管ごとに差が出てしまうと考える。もう少し具体的な提示があった方が良いと考える。

回答 22：各所管の考えがあるので、バラツキはやむを得ないし、ある程度はあっても良いのではないかと考える。もし揃えるのであれば、矢印だけにするしかないというヒアリングを進める中で感じている。

意見 23：環境のように数値目標の積上げがあるところはそれとの整合性を優先し、ないところでは、厳密でなくてもいいのでなるべく数値で出していく。例えば、そのような方針を事務局で取っていただきたい。

意見 24：検討段階では、当然できるだけ細かい数値でいくべきである。その後、全体を見ているような指標かどうかをみて、抜いてしまうこともあると思う。全体のバランスを見ないといけないので、それは事務局が示す必要があると思う。

意見 25：目標値に関して、意識調査的なものと、実績値のものが混在しているためバラツキがある。実績値を挙げるものは、重点的にやっていくという意味合いがあるの

ではないかと思う。実績値の目標を挙げるときに、財政的なところが気になるが、意識調査の満足度であれば、問題はないように思う。

意見 26：レベルの問題であり、調整が必要と考える。

回答 26：適切かどうか気になるものについて、現在ヒアリングをかけている。

意見 27：総合計画の見直しで大切なことの1つとして、市民が見て分かりやすいものというところがあったので、指標があって、目標値が示されるというのは、あるべき姿だと考える。事務局の方から示しているとのことだが、本当に載せるべき数値のあり方をどこかで議論して、明確に示すのがいいのではないか。そのうえでヒアリングをかけないと、個別の点検にしかならない。

意見 28：指標の統一的な考え方を整理出来るのは事務局しかない。この施策の目標に対してはこういう指標が良いというようなことはあるだろうが、全体的な考え方として共通のルールがあればと思う。

回答 28：7、8月の中間報告のころからある程度考え方を示してきて、それでも揃ったものが挙がってこない状況であり、指標の設定は難しいものだと感じている。実際に議論はしているが、揃えていくとき何を基本に揃えていくかが非常に難しく、バラツキは出ざるを得ないというのが実感である。

指示 29：こういう考え方だということを一度整理して示してはどうか。総合計画で挙げている指標が、全体的に説明できないといけない。これまで議論してきた中で、「基本的にはこういう考え方で決めるものです」、そして「結果がこれです」という形で、次回出していただきたい。

(2) 基本構想(素案)について

資料-3、参考資料及び参考資料-2 を用いて説明を行った。

(3) その他

特になし

1 委員

	構成委員	第17回 (1/23)
1	太田副市長	
2	山中副市長	
3	赤野水道事業管理者	
4	徳田病院事業管理者	
5	西川教育長	
6	赤松危機管理監	
7	牧内総務部長	
8	門脇行政経営部長	
9	木下市民生活部長	
10	木野内人権文化部長	
11	平野まち産業活性部長	
12	春藤こども部長	
13	安井福祉保健部長	
14	羽間環境部長	
15	森都市整備部長	
16	保田道路公園部長	
17	井口下水道部長	
18	西山会計管理者	
19	松中消防長	
20	川上水道部長	
21	坂田市民病院事務局長	
22	原田教育総務部長	
23	梶谷学校教育部長	
24	上原教育委員会事務局理事	(代理) 橋本次長
25	川下地域教育部長	

25

2 事務局

1	美馬次長企画政策室長兼務	
2	井尻次長	
3	木下総括参事	
4	岸本参事	
5	津田主査	
6	十川係員	
7	稲見係員	
8	藤田臨時雇用員	

8